



## 『集団の中での個の成長』

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

サンホセ日本人学校では、東京・大阪など各都道府県に加えて、コスタリカ、アメリカ、パラグアイなど、様々な地域出身の子どもたちが通っています。日本語よりも英語が得意な子ども、スペイン語が得意な子ども、そして関西弁…サンホセ日本人学校内だけでも異文化が体験できます。一人ひとりの生い立ちが違い、考え方も様々です。このような集団の中で、子どもたちにはどのような成長が見られるのでしょうか。「違いを受け止める力」、「自分の考えを伝える力」、「折り合いをつける力」、さらには「自分で考えて行動する力」でしょう。今年度は、子どもたちの入れ替わりが多く、人間関係を築く上でいろいろな悩みもあったと思います。しかし、学習や学校行事、遊びなど集団という場を通して、一人ひとりが相手を受け入れるとともに自分の意見を伝えながら成長しています。その成長の大きな支えとなっているのが、子どもの全てを丸ごと受け止めていただいた家族の力でした。「家族の絆」があってこそその在外教育施設での学びです。1年間、サンホセ日本人学校での学びが、個の成長に繋がるようご協力・ご支援いただきありがとうございました。また健康な身体のもとになる早朝からのお弁当作りをありがとうございました。

## 歴史に残る『紅白同点』第47回日本人会・日本人学校合同運動会

コスタリカでは30数年ぶりの寒さの中、その寒さを吹き飛ばす熱い戦いが見られた運動会でした。その結果紅組、白組ともに300点で開催史上初めての同点に終わり、大盛り上がりでした。運動会の最後を飾る一輪車の演技では、約半数が初めて一輪車を体験する子どもたちでしたが、お互いに助け合って、早朝や休み時間に練習を積み重ね、全員が一輪車に乗ることができるようになりました。その陰には、周りの優しい声かけとともに、転んでも歯を食いしばって頑張る子どもたちの強い心がありました。

今年度は、日本文化を愛するコスタリカの方も大勢参加され、玉入れや綱引きなどを全力で楽しんでいました。また、ルール説明の際には、現地の大学に通っている本校卒業生が、スペイン語で通訳してくれました。



【第47回 日本人会・日本人学校合同運動会】



【兄弟で練習】



【円陣を組んで、「一輪車頑張るぞ!」】

## 学びの成果を発信 会場が一体となった学習発表会

【運営委員の方からのご感想】 学習発表会を見せていただいてとても感動しました。発表を通して、それぞれの学年の目標に向かって楽しみながら努力した姿が見えて、素晴らしかったです。4年生までのかわいらしく、またしっかりとした発表も、6年生のただただ唸られる中身の濃い発表も、中学生のみんなを楽しませながら、自分たちも楽しみながらみんなを引っ張っていく発表もみんな印象的でした。自分自身がケニアにいた時は学芸会だったので、劇に取り組んだ覚えはあるのですが、ここまで住んでいた国のことを調べたり発表したりしませんでした。やはりコスタリカを知り、学習することはとても大切だな、と実感しました。



【コスタリカの伝統的なダンス Baile Típico】